

指定校番号	28059	学級活動	児童会・生徒会活動	○	学校行事	別紙様式
-------	-------	------	-----------	---	------	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	三原市立田野浦小学校	校長	杉原 禎也	生徒指導主事	東 英治
-----	------------	----	-------	--------	------

取組事例名 『ゼロ・プロジェクト そうじ時間おしゃべりゼロ』

取組のねらい『キーワード きれいな学校 三原一』

- ・掃除を徹底して行い、学校をきれいにする。
- ・集中して黙って物事に取り組む力をつける。

取組の具体的内容『キーワード みんなで取り組む』

- ・学級担任は、児童に掃除の仕方を事前に指導する。
- ・全教職員が率先して掃除を行い、範を示す。(教職員も一言もしゃべらず掃除をする。)
- ・「ゼロ・プロジェクト」週間に児童会役員が担当場所を点検し、がんばり表にシールを貼る。

取組の課題・創意工夫 『キーワード 行動力につなげる評価』

- (1) リアルタイムの評価
- ・点検の方法は、児童会役員が前後半に分かれ、分担して行う。
 - ・前後半ともに合格であれば、がんばり表にシールを貼る。
 - ・掃除終了時に、点検した児童会役員が、特にがんばっていた学級を校内放送で紹介する。
(例)「今日、特に掃除時間、集中してがんばっていた学級は、1年2組、2年1組、4年2組です。」
 - ・掃除終了直後に、児童会役員が、がんばり表にシールを貼る。
- (2) 評価の見える化
- ・できた掃除場所ごとにシールを貼り、児童のがんばりを評価する。
 - ・最終日には、おしゃべりゼロの掃除場所に、シールを2枚貼ることを、前日と当日の掃除開始時に校内放送で伝え、やる気を促す。



今日もシールが貼ってあるよ。やったね。明日もこの調子でがんばろう。

これで7日間連続シールがあるよ。パーフェクトだ。

(3) 全校朝会で表彰

- ・がんばり表を集計し、第3位までの学級を紹介し、全校の前で紹介する。
- ・呼ばれた学級は、全員返事をして起立することで、達成感や満足感を味わわせる。
- ・1位から3位まで、シールの数が同数の場合でも、複数の学級を表彰することで、他の学級にも意欲をもたせる。



ゼロ・プロジェクト（12月の結果）

第1位…1年2組, 2年1組, 2年2組
2年3組, ひまわり1組・2組

第2位…1年1組, 1年3組

第3位…4年2組

※シールの数が同数のため複数の学級を表彰

【第3位までの学級を紹介】



【トロフィーを渡し表彰】



【学級全員で達成感を共有する】

※学級・学年通信で保護者にも周知し、
家庭での評価につなげる。

取組の成果（効果）『キーワード 教職員・児童みんなで』

- ・学級の取組だけでなく、学年で黙って掃除することの目的を確認し、11月・12月は第1位・2位を、1年生・2年生の全学級が独占した。
- ・校内放送によるリアルタイムの評価と、がんばりシールを貼って評価の見える化を行ったことで、さらなる意欲や行動力につなげることができた。
- ・「くらしのスタンダード」に掲げている「黙って掃除している」項目において、4月のアンケート結果では、教職員と児童の肯定的評価の差が35%であったが、12月のアンケート結果では、差が2～3%になった。

※12月のアンケート結果：教職員（95.2%） 児童（92.5%） 意識の差（2.7%）

今後の展開『キーワード 学級から学年, 学年から全校へ』

- ・児童会役員が努力を要する学級に行き、担任・児童に伝える。
- ・教職員もともに、掃除時間、隅々まで時間いっぱい集中して取り組む。
- ・「黙って掃除すること」を全校でやり切る。そのために、教職員が「やり切らせる指導」をやり切る。

他校へのアドバイス『キーワード 一点突破の取組』

- ・改善していく部分はあるが、ポイントを一つにしぼり、一点突破の取組を進めていく。
- ・児童も教職員もみんなで目標に向けて取り組んでいく。
- ・リアルタイムの評価で学級が固定化しないよう、校内放送の在り方を工夫し意欲や達成感をもたせる。